

☆林業普及センターでは、森林に携わる方々に役立つ技術・知識等の情報を「普及センターだより」として発信します。年3回を目標に発行していく予定なのでよろしくお願いいたします。☆

普及情報

木の駅プロジェクトを支援します。

滋賀県では、県民の方々や森林所有者との協働による木材の多面的利用を進めるために、「自伐型林業」や「木の駅プロジェクト」などの取組を支援することにより、森林整備を促進させるとともに、木質バイオマス資源の有効活用やエネルギーの地産地消、地球温暖化対策、さらには、山村地域の活性化などに繋げる仕組みづくりを構築します。

【木の駅プロジェクト推奨事業の内容】

①自伐型林業を行う団体に対する支援

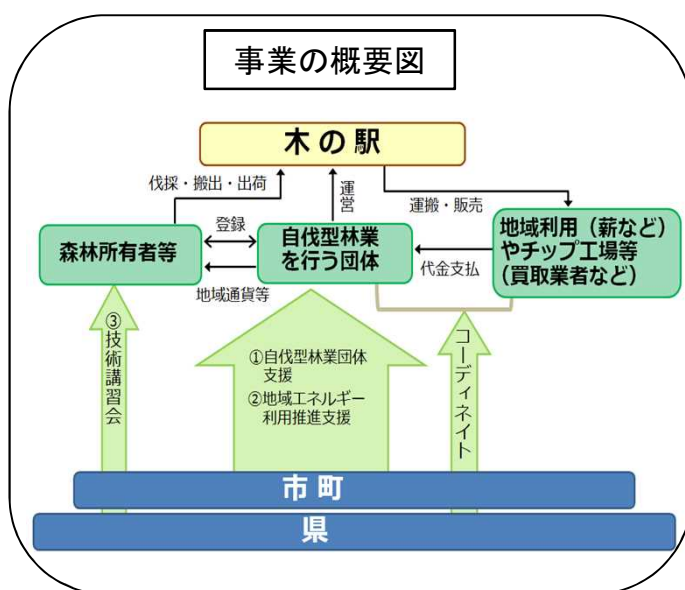
活動に必要な経費のうち1/2以内を助成します。（機械器具の購入、土場の整備は1団体あたり50万円が上限。資機材のレンタル等は1団体あたり単年度につき20万円が上限。）

②地域エネルギー利用推進支援

未利用材の地域エネルギー利用を推進するため、搬出運搬に要する経費に対して、1㎡あたり1,000円を助成します。

③自伐型林業等に対する技術講習会等の開催

自ら伐採や搬出を行う森林所有者等に対して、県が技術研修や安全講習を県内各地域で開催します。また、市町が開催する同様の研修等に対して助成を行います。（担当：木下）



森林環境学習「やまのこ」事業教員研修会を実施します。

森林環境学習「やまのこ」事業は、本格稼働を始めて10年が経ちました。

今年は、事業実施に係る関係者が、数回にわたって集まり、これまでの10年間でよかったことや課題などを検討するやまのこ事業検討会を実施しています。

さて、林業普及センターでは、やまのこ事業の対象学年である小学校4年生の担任の先生に対し、教員研修会を開催しています。学校の先生により深く事業について知っていただくことで、子どもたちの森林環境学習の効果が深まることを期待しています。

今年度の開催は、7月24日・26日 林業普及センター、8月18日には多賀町の高取山ふれあい公園で実施する予定です。（担当：山本(綾)）



昨年度の教員研修会の様子

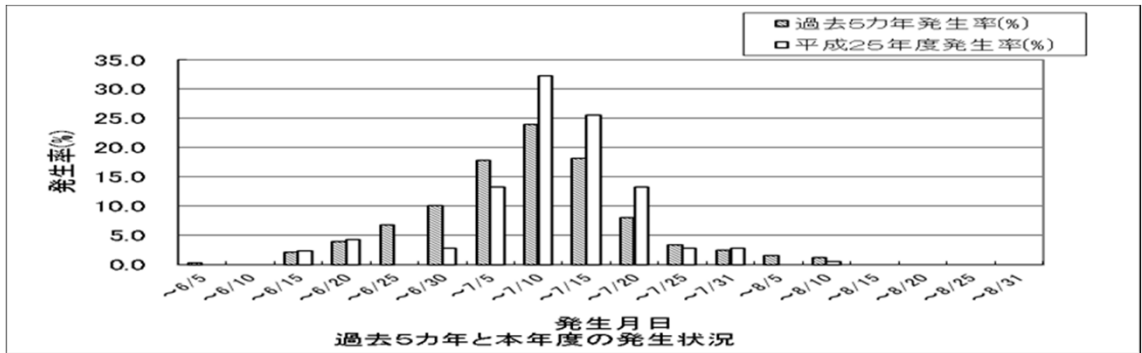
「マツノマダラカミキリ発生予察」の経過

林業普及センターでは、「マツノマダラカミキリ発生予察」を実施しています。

この発生予察は、松くい虫防除事業の地上散布などの実施時期決定のため大変重要な調査です。時代の流れとともに地上散布等の実施も少なくなりましたが、それでも毎年、カミキリの発生状況の問い合わせが多いので、継続して調査をしています。

【調査方法】

- ① 冬季幼虫が確実に入っている木を集め、センター敷地内に設置している網室に入れる。(右写真)
- ② 5月中旬くらいから毎日決まった時間に成虫が羽化脱出しているか否かを見る。
- ③ 成虫が羽化していれば、捕まえた上で雌雄の別とそれぞれの頭数を記録する。
- ④ これを毎日続けて、羽化脱出の初日とピーク、終了を押しさえる。

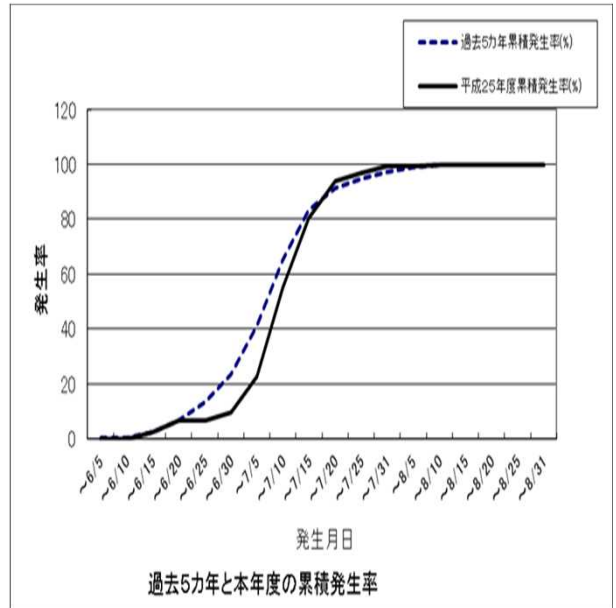


【調査上で注意を要する事項】

☆1: 幼虫が確実に入っている木を見極める目が必要です。必ずしも「マツクイで枯れた木＝幼虫の入っている木」ではありません。いい加減に木を集めると羽化脱出の時期になって「あれ？発生しない」ということとなります。

☆2: 羽化脱出した成虫の殆どは網室の天井にっついていますが、ちょっとした刺激でぽとりと落ちてしまいます。完全な保護色となっていますからそうすると再び見つけるのは困難です。

☆3: 狭い空間に複数のメス成虫を一緒に置くとたちまち壮絶な喧嘩を始めます。わずかな時間でひげも足もない胴体だけの哀れな姿になります。雌雄の判別がすむまでは一頭ずつで扱う必要があります。(担当: 吉川)



■編集・発行 滋賀県森林政策課 林業普及センター(旧滋賀県森林センター) / 2017年7月発行

■〒520-2321 / 滋賀県野洲市北桜978-95 / TEL 077-587-2655 / FAX 077-587-6527 /

■ホームページ <http://www.pref.shiga.lg.jp/d/shinrin-c/index.html>

